

## 在宅医療支援システム研究会次第

日時 令和3年10月26日（火）

18時30分～

場所 介護老人保健施設くろかみ 研修室

1 開 会

2 あいさつ

3 報告、情報提供

① 新型コロナワクチン接種の状況について

② ブラウンバックの広報予定について

③ ピオーラカフェの案内

④ 新見市 介護保険事業計画について

⑤ 令和3年度 第3回多職種連携会議開催のご案内

4 協議事項

① 認知症ケアパス、新見版情報共有書(地域連携パス)について  
「認知症安心ガイドブック」の見直しを検討中

②その他

次回開催日

令和3年 月 日（ ）

令和3年10月27日

# お知らせ

課名	医療推進課
担当	疾病対策推進班 作間・谷口
内線	2619
直通	(086)226-7321

医薬品の適正使用推進のためのブラウンバッグ運動を実施します！！

高齢化により定期的に薬を服用する必要がある人が増える中、飲み忘れによる治療効果の低下や、飲み過ぎや誤服用による健康被害への対応が全国的な課題となっています。このような中、令和元年度から令和2年度にかけて、県内の指定地域においてブラウンバッグ運動(※)による残薬整理の実証実験及びフォローアップを行ったところ、多くの薬局ではこの取組が残薬整理を積極的に進めるきっかけになりその強化や加速に一定の成果が見られたことから、さらにブラウンバッグ運動の認知度を高め薬の適正使用を推進するために、令和2年度実証実験実施地域においてフォローアップのための集中配布を実施します。

(※) ブラウンバッグ運動とは、薬局が患者へ袋を提供し、自宅の薬を持参していただいて薬剤管理を行う取組のこと。名称は、1990年代にアメリカで茶色の袋が使われていたことに由来します。

## 記

### 1 実施期間

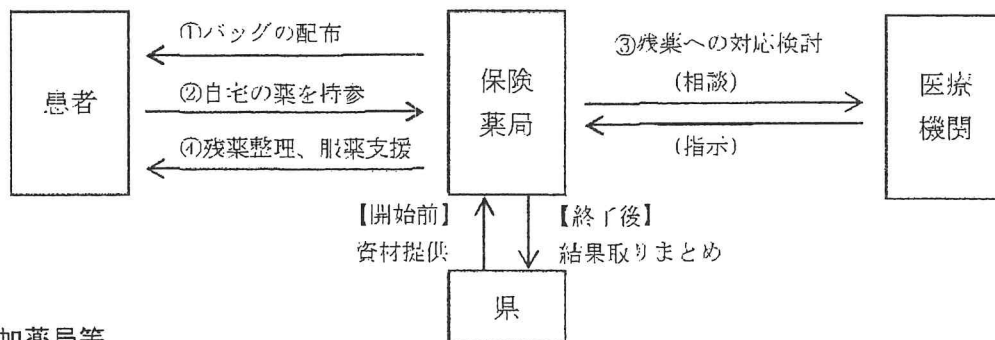
令和3年11月1日(月)～令和4年3月31日(木)

### 2 指定地域

高梁市及び新見市(令和2年度実証実験実施地域)

### 3 事業内容

県が作成したブラウンバッグを、指定地域の保険薬局において配布し、地域住民に自宅の薬を持参するよう呼びかけを行う。期間終了後には、参加した保険薬局及び地域内の医療機関へアンケート調査を実施し、前年度の実証実験後、残薬整理がどの程度進んだか、また実施にあたってどのような課題があったか等を検証する。



### 4 参加薬局等

岡山県薬剤師会高梁支部に所属する保険薬局全9店舗、新見支部は約8割に当たる9店舗が参加、

また、ブラウンバッグ運動の実施にあたって、県医師会、郡市医師会を通じて、対象地域の医療機関へ協力を依頼している。



# ピオーラ カフェ

ピオーラカフェは、認知症の人やその家族が気軽に立ち寄れて、地域の人たちとのつながりを作るきっかけにもなる場所です。地域の人や、介護や医療の専門職など誰もが参加できるカフェとなっていますので、お茶を飲みながらお話や相談をしながら交流を深めましょう！

## 開催について

開催日：奇数月の第4水曜日 13:30～15:30

場 所：新見市地域福祉センター

参加費：おひとり200円

参加者：30名程度

認知症の方やそのご家族、  
認知症について理解を深めたい方、  
どなたでもご参加いただけます！

その他：認知症や介護に関する相談のほか、  
各種相談をお受けします


## 感染症対策について

\*感染症対策のため、広い会場にて定員を設けて行います。

\*マスクの着用や入室時の消毒・検温等にご協力ください。

\*発熱や風邪症状がある場合は、参加をお控えください。

## 問い合わせ先

 社会福祉法人 新見市社会福祉協議会  
〒718-0016 新見市金谷 640-1  
TEL 0867-72-7316 (介護保険課)

## 第 2 回



日 時 11月24日(水)

13:30～15:30

内 容 元気の秘訣は毎日の食事！  
(栄養士による講話)

笑いヨガ など

\*事前の申込みは不要です

## 【次回日程】

令和4年1月26日(水)

どなたでも気軽に  
ご参加くださいね♪

新見市社協イメージキャラクター  
『ピオーラちゃん』



共に支え合い  
笑顔があふれるあたたかい福祉のまち・にいみ

# 認知症になっても 安心リーフレット



認知症初期  
集中支援チーム

病院

介護

医療

新見市地域  
包括支援センター



介護事業所

診療所

認知症の方とその家族

地域



認知症サポーター

見守りネットワーク

認知症カフェ

新見市介護保険課

正常・軽度認知障害

軽度

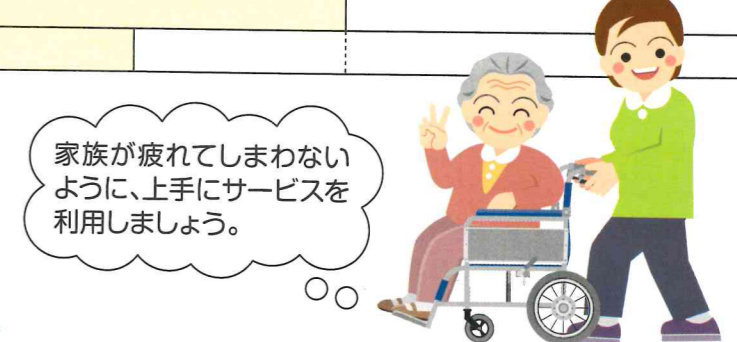
中等度

高度

認知症の進行

		認知症の疑い	日常生活は自立	誰かの見守りがあれば日常生活は自立	日常生活に手助け、介助が必要	常に介護が必要	
認知症の進行と主な症状	本人の様子	<ul style="list-style-type: none"> <li>●同じことを何度も繰り返し聞く</li> <li>●日付や曜日がわからなくなる</li> <li>●疑い深くなったり、怒りっぽくなる</li> <li>●好きだったことに興味を持たなくなる</li> <li>●探し物をしていて、何を探していたのか思い出せない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●同じ物を買ってくる</li> <li>●計画や段取り通りに行動出来ない</li> <li>●約束を忘れる</li> <li>●料理の品数が減ったり、味付けが変わる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●知っている場所で迷子になる</li> <li>●季節に合った服が着られない</li> <li>●着替えや入浴を嫌がる</li> <li>●徘徊が見られるようになる</li> <li>●すぐ興奮する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●トイレの失敗をする</li> <li>●家族の顔や人間関係が分からなくなる</li> <li>●話さなくなる</li> <li>●使い慣れた道具の使い方がわからなくなる</li> <li>●寝たきりになり、食べ物が食べられなくなる</li> </ul>		
	家族の心構え	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域行事やボランティアなど社会参加を働きかける</li> <li>●趣味やレクリエーションを楽しむように働きかける</li> <li>●家庭内でも役割を持ち、継続できるようにする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●接し方の基本的なコツ等を理解する</li> <li>●家族間で介護のことについて話し合っておく</li> <li>●相談窓口を見つける</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●介護者自身の健康管理を行う</li> <li>●介護サービスを上手に利用する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●合併症を起こしやすくなることを理解しておく</li> <li>●どのような終末期を迎えるか家族間で話し合っておく</li> </ul>		
認知症の進行に合わせて受けられるサービス	ひとり暮らし	可 能			生活困難になってくる		
	専門職の関わり	不 必 要			必 要		
	相 談	地域包括支援センター(認知症初期集中支援チーム)・介護支援専門員					
	居 場 所・集 う 場	通所介護(デイサービス)					
		公民館活動・老人クラブ・ふれあいサロン等					
	生 活 支 援	買い物、調理など	訪問介護(ホームヘルプサービス)				
		移動支援	配食サービス				
		ゴミだし・仕分けなど	地区組織・近隣・社会福祉協議会・介護タクシー・福祉移送サービス				
		雪かきなど	近隣・訪問介護				
		金 銭 管 理	シルバー人材センター・地区組織			日常生活自立支援事業	
	住 ま い	自宅					
		ショートステイサービス					
			グループホーム				
医 療	かかりつけ医・かかりつけ歯科医・かかりつけ薬局						
				特別養護老人ホーム・介護老人保健施設			
	養護老人ホーム・ケアハウス・小規模多機能型居宅介護						
家 族 支 援	かかりつけ医						
				訪問看護			
	服薬確認サービス						
安否確認・見守り	地域包括支援センター						
	認知症カフェ・家族会						
	認知症サポーター・民生委員等地域住民ネットワークによる見守り・その他見守りサービス						
	SOSネットワーク						
独居高齢者宅等個別訪問支援事業							
緊急通報事業							

※赤字は資源としての役割をはたせるように調整・整備していくもの



## 認知症相談窓口

**認知症**に関する相談は

**新見市地域包括支援センター**

**電話:(0867)72-6209**

認知症の人やご家族だけでなく、近所に住んでいる気になる人の情報や相談など幅広く受け付けていますので、気軽に相談してください。

### ●その他の相談窓口

名称	住所	電話
健康づくり課	新見310-3(南庁舎)	72-6129
大佐支局	大佐小阪部1469-1	98-2111
神郷支局	神郷下神代3936	92-6111
哲多支局	哲多町本郷246-4	96-2111
哲西支局	哲西町矢田3604	94-2111

認知症は誰でもかかる可能性のある病気で、高齢者だけがかかる病気ではありません。**65歳未満で発症する若年性認知症もあります。**認知症の人と家族が安心して暮らせる地域をみんなで作っていきましょう!

### 地域目で見守ろう!

次のような方をみかけたら、認知症などによる徘徊の可能性があります。  
上記の地域包括支援センターにご連絡下さい。

- 季節に合わない服装をしていたり、服装がどこかちぐはぐな様子がみられる。
- 不安そうで落ち着きがない。
- ぼーっとして、何も持たずに歩いている。逆に大きな荷物を持っている。
- 履物が不揃い。
- 信号のないところで道路を横断しようとしたり、車道を歩いている。

### 認知症サポーターになりましょう!

#### ●認知症サポーターとは?

認知症について正しい知識をもち、認知症の人や家族を温かく見守る応援者のことです。いつ自分や家族、あるいは知り合いが認知症になるかわかりません。認知症サポーターになり、認知症になっても安心して暮らせる地域をつくっていきましょう。

### 認知症サポーターになるには?

「認知症サポーター養成講座」(1時間～1時間半)を受講すれば、どなたでもなることが出来ます。職場、町内会など10人程度集まる場があれば、講座を開催させていただきます。

開催日等の相談については、地域包括支援センター(電話72-6209)にお問い合わせください。

令和3年10月吉日

医療・介護関係事業所等 管理者 様

(新見市在宅医療・介護連携支援センター受託団体)  
一般社団法人新見医師会 会長 太田隆正  
(公印省略)

### 医療・介護従事者研修会及び会議の開催について (ご案内)

9月22日に開催いたしました第2回多職種連携会議には、多くの方にご参加いただきありがとうございました。このたびは、令和3年度第3回人材育成研修会・多職種連携会議を開催いたしますので、ご案内をさせていただきます。

第3回の研修会では、在宅での看取りや施設での看取りに携わり、本人や家族と関わられた事例をご紹介いただくことで、本人や家族の望む最期を迎えていただくということはどういうことか、また本人や家族だけでなく、関わらせていただいた医療・介護スタッフが何を感じたのかなどを知り、参加者みんなで、多職種で関わる看取りについて考える機会にしたいと考えております。このため多くの医療・介護従事者の方に聴講・意見交換をしていただきたいと考えておりますので、実務に携わっておられる職員の参加にご配慮いただきますようお願い申し上げます。

また、今回の研修会ではグループワークをすると予告していましたが、第2回多職種連携会議後のアンケートで、「ZOOMでのグループワークは良いが、対面でするのは時期尚早では」というご意見を沢山いただきましたことと、「ZOOMと会場参加の併用型の開催形態」の継続を多くの方が望んでくださっていることを踏まえて、シンポジウムという形にさせていただきました。グループワークを楽しみにして下さった方には大変申し訳ありませんが、今後もグループワークをすることを諦めることなく、検討を続けてまいりますのでお許しください。

なお、本研修会は岡山県介護支援専門員協会新見支部の皆様にも共催いただいております。開催に際しましては、感染対策に努めさせていただきますのでご協力をよろしくお願い致します。

### 記

1 日 時：令和3年11月25日(木) 18:30～20:30

2 場 所：①新見市地域福祉センター 多目的ルーム(30名まで)

※会場参加の希望者が予定を上回る場合は会場を増やす予定です

②ZOOM利用によるリモート参加(人数に制限はありません)

3 内 容：シンポジウム

《 テーマ 》

在宅での看取り、施設での看取り

～本人・家族が望む最期の時を迎えていただくために、多職種が連携してできること～

座 長：佐藤 勝 様（哲西町診療所 医師 ）  
シンポジスト：岡 正登詩様（哲西町診療所 医師 ）  
三好 登 様（特別養護老人ホーム唐松荘 施設長代理 ）  
福田沙耶香様（阿新虹の訪問看護ステーション 訪問看護師 ）  
南 好恵 様（くろかみ介護支援センター 介護支援専門員 ）

4 対 象：医療・介護関係者（実務に携わっておられる方以外でも参加できます。）

5 申し込み方法等：**▲会場参加と ZOOM 参加では申し込み方が異なります**

- ・**会場参加希望**：メール又は F A X 又はチャットで、別紙申し込み用紙に記入してお送りください。
- ・**ZOOM での参加希望**：必ずメールでお申し込みください。詳細は次ページに記載しております。

### **申し込み締め切り：令和3年11月2日（火）まで**

6 質問・意見等はシンポジウムの中でお受けいたします。

7 その他

- ・新型コロナ等感染拡大防止のため、当日は検温・手指消毒の実施、座席の間を空ける、適宜換気をするなどをさせていただきます。
- ・会場内での飲食はご遠慮ください。
- ・会場では必ずマスクを着用してのご参加をお願い致します。
- ・当日体調不良の方は会場参加をお控えください。

新見市在宅医療・介護連携支援センター まんさく

電 話：0867-88-8270

F A X：0867-71-0309

メール：[mansaku@kurokami.jp](mailto:mansaku@kurokami.jp)

**※研修会当日は必ず携帯電話にご連絡ください**

**まんさく携帯電話：080-4263-9523**

※開催通知、申込用紙については、新見地域在宅医療支援システム研究会（旧新見医師会在宅医療連携拠点まんさく）ホームページからもダウンロードいただけます。



## ZOOMでの参加をご希望の方へ

- ・下記の内容を記入し、メールで、[mansaku@kurokami.jp](mailto:mansaku@kurokami.jp) までお送りください。
- ・グループでご参加の方は代表者の方がお申し込みください。一人でご参加の方はご自身でお申し込みください。代表者の方のみに返信しますので、ご注意ください。

- 1 参加者の代表者名
- 2 代表者の電話番号
- 3 事業所名
- 4 参加者全員の氏名と現在の職種
- 5 講師の先生への質問

- ・必ずメールでお申し込みください。一週間前にログイン情報をお送りします。  
一週間前(11月18日)までに届かなければ、お手数ですがまんさくまでご連絡  
ください。ご連絡がない場合、ログイン情報は届いたと判断させていただきます  
ので、よろしくお願い致します。
- ・ZOOM参加の方の研修資料につきましては、前日の11月24日にメールで送らせていただき  
ますので、お手数ですが各自印刷をしてご準備ください。  
11月24日の15:00までに資料のメールの送信がなければ、至急まんさくまで  
ご連絡ください。

まんさく(0867-88-8270)

# 令和3年度 第3回人材育成研修会・多職種連携会議

## 会場参加希望者用 参加申込書

☆Web参加希望の方はこの用紙ではなく、必ずメールでお申し込みください

事業所名

連絡担当者名

連絡電話番号

会場は、新見市地域福祉センター多目的ルームのみです

参加者氏名	職種(役職名ではなく)	備考

アドレス mansaku@kurokami.jp

FAX 71-0309

新見市在宅医療・介護連携支援センターまんさく 宛

※申込書は新見地域在宅医療支援システム研究会（旧新見市在宅医療連携拠点まんさく）ホームページからもダウンロードできます。

**締め切りは11月2日(火)です**